

屋内農場“PUTFARM SUPREME”がグッドデザイン賞を受賞

プランツラボラトリー株式会社（東京都中央区：代表取締役 湯川敦之）と東京大学佐藤淳研究室が共同で開発した屋内農場“PUTFARM SUPREME”が、2020年度のグッドデザイン賞を受賞しました。

■グッドデザイン賞公式サイト：受賞対象ページ

<https://www.g-mark.org/award/describe/50926>

■審査委員コメント

従来の農業用ハウスは、豪雨や暴風等、年々激しさを増しつつある気象変化に対して十分な強度を有しているとは言い難く、毎年のように全国各地で農家は自然災害による被害を被っている。これに対応可能な安価かつ簡易でありながら十分な強度を有した新しい農業用空間システムを、足場用単管と既製品ワイヤを基本に、そこに単純な形状の接合用金属プレートを組み合わせることで簡易に実現している。特筆すべきはたった二種類のアーチ状のフレームを、交互に並置し、これを桁行の単管とワイヤで簡単に接続するだけで、立体的なトラス構造を生み出し強度を確保している点にある。全国的に普及可能で有効な構造システムとして期待でき、高く評価した。

■グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、デザインによって私たちの暮らしや社会をよりよくしていくための活動で、1957年の開始以来、シンボルマークの「Gマーク」とともに広く親しまれています。製品、建築、ソフトウェア、システム、サービスなど、私たちを取りまくさまざまなものごとに贈られ、かたちのある無しにかかわらず、人が何らかの理想や目的を果たすために築いたものごとをデザインにとらえ、その質を評価・顕彰しています。

■本件についてのお問い合わせ

プランツラボラトリー株式会社 Tel : 03-6822-5831